

埼玉トヨペット  
Green Brave



GR 86/BRZ Race

### プロフェッショナルシリーズ

## ■ ■ 吉田選手リタイア、川合選手23位。悔しい結果に ■ ■

第4戦(今シーズンの3大会目)は土曜日に予選と第1ヒート、日曜日に第2ヒートを行う2ヒートレース。土曜日の天候は雨。プロシリーズの予選は開始直後に赤旗中断となり、残り10分で再開。川合選手は終了間際に1分46秒856をマークし、5位に飛び込むが、黄旗中のアタックのため認定されず。セカンドベストの1分48秒041が採択され、予選8位となった。吉田選手は2回目のアタックで1分49秒095をマークし12位。第1ヒートはウェットで行われ、川合選手は9位で1周目を終了。5周目に1台抜き、8位に上がる。前を走るのはランキングトップの谷口選手。ランキング2位の川合選手はなんとか谷口選手の前に出ようと何度も仕掛けるが、百戦錬磨の谷口選手は隙を見せない。残り2周をきった13周目、4コーナーで川合選手が谷口選手のアウト側に並びかけるが、2台は接触。コースアウトした川合選手は再スタートをきることができず、2周遅れの24位となった。吉田選手は1周目のホームストレートを12位で通過。ベテランらしい安定したレース運びを見せ、ライバルを次々とオーバーテイクする。4周目に11位、7周目に10位、8周目に9位。13周目に8位となり、そのままチェッカー。第2ヒートに駒を進めた。日曜日の天候は曇り。第2ヒートはドライで行われ、8番グリッドからスタートした吉田選手は順当なスタートをきり、集団の中を走行。ポジションアップの機会をうかがうが、8コーナーの入り口でコースアウト。そのまま動けなくなり、0周リタイアとなった。最後尾、24番グリッドからスタートした川合選手は順調にポジションアップ。セーフティカー(SC)が導入された2周目には18位まで浮上する。しかし、SCが解除された5周目に川合選手の再スタートが違反とジャッジされ、ドライビングスルーペナルティが与えられてしまう。最後尾の23位でレースに復帰し、そのままチェッカー。両選手ともに上位でフィニッシュできる力が十分あっただけに、非常に悔しい週末となった。



#### #160 埼玉トヨペット GB 86 BS



#### 吉田 広樹

総合結果：リタイア(14周)

第2ヒート：リタイア(0周)

第1ヒート：8位

予選：12位(1分49秒095)

#### ■第1ヒート

今回はずっと雨で、ウェットのレースではドライよりいろいろ仕掛けることができるので、順位を上げやすく、走っている方はエキサイトしました。今回は2ヒート制で、第1ヒートの結果で第2ヒートのグリッドが決まるので、8位で終われ、明日につながると思います。

#### ■第2ヒート

少しでも前という中で争っていたのですが、自分の判断を誤ってしまってコースアウトしてしまい、出られなくなってしまいました。今日リタイアしたことで、昨日のレースのポイントもなくなりました。すぐもったいないし、チームに申し訳ないし、情けない結果に終わってしまいました。次の岡山では優勝を目指し、チームのクルマが速いというのを証明したいと思います。

#### #521 埼玉トヨペット GB 86



#### 川合孝汰

総合結果：23位

第2ヒート：23位

第1ヒート：24位

予選：8位(1分48秒041)

#### ■第1ヒート

ランキング1位の谷口さんと1対1の勝負になりました。いろいろところで仕掛けたのですが、抜くことができず、残り2周ぐらいでどうしようかなと。あそこしかなく、リスクも考えていたのですが、結果的にリタイアになってしまいました。調子が良かったレースで、1レース目をおとししまったのは悔しいですね。

#### ■第2ヒート

スタートは良く、落ち着いて行けたのもあって、8台ぐらい抜きました。SC明けの再スタートのタイミングでわずかに出てしまい、ペナルティをもらってしまいました。もったいなかったと思います。今回の十勝ラウンド、本当につまらないミスが多かったので、次の岡山に向けてここから切り替えていければと思います。

#### エンジニアコメント from 坂戸サービスセンター・藤橋玲王

普段、モータースポーツ室と同じ屋根の下で仕事をしているのですが、実際に参加してみると、レースの世界って厳しいなというのを実感しています。自分の作業でコマ数秒の差が出てくるので大変です。今まで何回かチームの86やマークXを板金して直したことがあるのですが、より気持ちを込めて直そうと思ったり、ドライバーさんに対する思いが変わりますね。

## クラブマンシリーズ(オープン)

## ■ ■ 榎村選手が自己ベストの6位に入りルーキー賞 ■ ■

86GB キャンプから榎村選手がクラブマンシリーズ(オープン)に出場。エントリー台数は14台。土曜日の朝に行われた予選は残り10分でタイムを争う展開に。榎村選手は1回目のアタックで1分57秒345をマーク。続けてアタックを行うも、前車が巻き上げる水煙を浴びてしまい、タイムを短縮することができない。榎村選手はアタック時にスピンを喫し、ヒヤリとさせる一幕もあったが、最後のアタックで1分54秒379の好タイムをマーク。予選5位の好位置につけ、ピットは大きな盛り上がりを見せた。ウェットで行われた第1ヒート。榎村選手はスタートでやや出遅れ、1周目を7位で終える。3周目に上位の選手がコースアウトし、6位に浮上。さらに上位を狙うも、4周目にセーフティカー(SC)が導入される。7周目からレース再開。後続の選手が榎村選手にプレッシャーをかけており、8周目に7位に。榎村選手はポジションを守り切り7位でフィニッシュ。第2ヒートもウェットで行われ、榎村選手は好スタートをきる。1コーナー立ち上がりまでに一挙4台をパス。3位でホームストレートに戻ってくる。ポジションをキープしたい榎村選手だが、後続のペースは速く、2周目に5位、3周目に6位まで順位を下げる。8周目に上位のクルマがコースアウトしたため5位に浮上するが、10周目に後続の先行を許し6位でチェッカー。デビュー3戦目で初めての入賞となり、8ポイントを獲得した。この結果により「ルーキー賞」を受賞。榎村選手の522号車の整備を担当した朝霞支店の唐沢と喜びをわかしあった(右写真)。



#522 GB CAMP 86



榎村徳俊

総合結果：6位

第2ヒート：6位

第1ヒート：7位

予選：5位(1分54秒379)

## ■ 第1ヒート

スタートはホイールスピンの大きすぎて遅れた感じです。前の選手も遅れていたのだから抜かすのですが、これ以上行くとやばいと思ってひきました。そうこうしているうちに後続の1台に抜かれ、また1台抜かれという感じでした。とにかく滑る状況は変わらないので、ミスをしないように心がけて、しっかり減速し、姿勢をつくってからアクセルを踏んでいきました。

## ■ 第2ヒート

最高のスタートでしたね。表彰台に行けると思って勘違いしちゃいました。スタートで3位に行けたので、このままの順位で行って、あわよくば表彰台と思いましたが、咲川さんに抜かれ、山崎さんに抜かれ、ちょっとでも後ろをおさえて前でゴールするぞと思って走りました。岡山ではレースのスピードを上上げて、ぜひ表彰台を狙いたいです。

【次戦予告】 10月17日(土)～18日(日) 岡山国際サーキット(岡山県美作市)

## PARTNERS



アイ・ディ・アイ



EMG ルブリカンツ合同会社



株式会社エヌ・ティ・コーポレーション



株式会社 FM NACK5



大宮クリーン社・大進カーエアコン



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼玉スリーボンド株式会社



埼玉トヨペット陸送株式会社



株式会社テレビ埼玉



株式会社デンソーソリューション



株式会社ドーム



トヨタモビリティパーツ株式会社



株式会社ハッピーライフ彩生



富士ゼロックス埼玉株式会社



丸和工業株式会社



株式会社リビコー



レカロ